

セレナイト F ブイヨン(SELENITE F-T)

Enrichment broth for *Salmonella* spp.

サルモネラ増菌培地

概要

本培地は糞便検体中の *Salmonella* spp. の増菌を目的として使用されます(1)。

原理

本培地は、腸内細菌中の *Salmonella* spp. の発育を促進するように調製されています。本培地を用いた増菌を行った後、サブカルチャーを実施して下さい。

キット構成

調製済み培地		
REF42099	試験管培地	9mL × 20 本

組成(g/L)

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります：

肉カゼインペプトン(ウシ/ブタ)	5 g
ラクトース(ウシ)	4 g
リン酸ナトリウム	10 g
亜セレン酸ナトリウム*	3 g
精製水	1 L

pH 7.0

*注意：本製品は亜セレン酸ナトリウムを 0.3% 含有しており、環境に有害です。

R33：蓄積性があり危険です。

R52-53：水生生物に有害です。長期的暴露により、水生環境に悪影響を与える恐れがあります。

S28：皮膚に触れた場合、直ちに流水で洗ってください。

S29：下水に流さないでください。

詳細情報に関しては、SDS を参考にしてください。

必要な器材および試薬

試薬

- サルモネラ・シゲラ寒天培地(品番 43091、51043)
- ヘクトエン エンテリック寒天培地(品番 43111、51050)
- SM® ID 寒天培地(品番 43291)
- chromID™ *Salmonella* 寒天培地(品番 43621)

器材

- ふ卵器

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂種または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、培地、そして検体を接種した製品は伝染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。
安全ガイドライン：CLSI M29-A, «Protection of Laboratory Workers from occupationally Acquired Infections: Approved Guideline – Current Revision» 操作留意事項：Biosafety in

Microbiological and Biomedical Laboratories , CDC/NIH Latest Edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。

- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている培地は使用しないで下さい。
- 使用前に、フタに破損がないか確認して下さい。
- 死菌由来の成分が培地中に存在しても、培地の性能には影響しません。
- 本培地は、わずかにオレンジ色の沈殿物が見える場合や若干オレンジ色になることがあります、製品の性能には影響ありません。
- 本培地は、取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵条件

箱未開封の状態、2-8℃下で有効期限まで保管可能です。

検体

糞便を用いて本培地に直接接種します。

検体採集および輸送に関しては、GLP を遵守して下さい。

使用法

- 本培地を室温に戻します。
- 糞便 1-2 g、あるいは水様便 0.5-1 mL を接種します。
- 均質化するために軽く振ります。
- 37℃で 24 時間培養します。用途に応じて、最新の標準法を参照して適切な温度で培養してください。
- 増菌培養後、サルモネラの検出に適した培地(サルモネラ・シゲラ寒天培地、ヘクトエン エンテリック寒天培地、SM® ID 寒天培地、chromID™ *Salmonella* 寒天培地など)に 10 □l 接種します。
- 37℃で 24 時間培養します。

判定

- 使用した分離培地の添付文書を参照して下さい。

品質管理

プロトコール：

本培地は、下記の標準菌株を用いて試験を行います。

- Salmonella typhimurium* ATCC® 14028™
- Escherichia coli** ATCC® 25922™

*この菌株は、トリブケースソイブイヨンにも同時に接種してください(コントロール)。

精度管理限界値：

菌 種	サルモネラ・シゲラ寒天培地でサブカルチャー後の 33-37℃での試験結果
<i>Salmonella typhimurium</i> ATCC® 14028™	24 時間の増菌後に発育
<i>Escherichia coli</i> ATCC® 25922™	コントロール以下の発育

注意：

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度、抗菌薬の選択等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

発育の度合は微生物各個体の要求性により異なります。よって、特殊な要求性を有する *Salmonella* 菌株は発育しないこともあります。

性能

性能は、38株 (*Salmonella* spp. と他のグラム陰性菌及びグラム陽性菌) を用いて、37℃にて評価しました。

増菌:

24 時間培養した結果、試験に用いた 13 株の *Salmonella* spp. が本培地で増菌されました。

糞便用分離培地との適合性:

本培地で増菌した後、サルモネラ・シゲラ寒天培地、ヘクトエンエンテリック寒天培地、SM® ID 寒天培地、chromID™ *Salmonella* 寒天培地を用いてサブカルチャー結果、13 株の *Salmonella* spp. が発育し、特徴的なコロニーを形成しました。

選択性:

Salmonella spp. 以外の 25 株は、サブカルチャーした培地の選択性により発育が異なります。

参考文献

1. LEIFSON E. - New selenite enrichment media for the isolation of typhoid and paratyphoid (*Salmonella*) bacilli - *A. J. Hygiène*, 1936, vol. 24, p. 423-432.

廃棄処理

使用済み又は未使用にかかわらず、試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄してください。

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n> 回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2669(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目 2 番 2 号
大崎セントラルタワー 8 階

Tel: 03-6834-2669 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

Chemin de l'Orme
69280 Marcy-l'Etoile - France

RCS LYON 673 620 399

Tel. 33 (0)4 78 87 20 00

Fax 33 (0)4 78 87 20 90

www.biomerieux.com